

ゆう・あいステッププラン～後期実施計画達成状況報告

Ⅱ 一部達成した 9項目

①1-3-9-5 生涯学習ゆう・あい賞顕彰制度の実施(市民力推進課)

数値目標(成果指標)

表彰式及び記念講演実施参加者数600人(各回200人)

令和2年度実績 贈呈式は実施したが受賞記念講演は令和3年度に延期

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
—	200人	—	120人

事業実施内容

京都文化創生機構 理事長 富士谷 あつ子氏を表彰。

受賞記念講演については新型コロナウイルス感染症の影響で令和3年度に延期となった。

後期実施計画の総括

平成28、平成30、令和2年度に事業を実施。

令和2年度の講演は延期となったが、受賞記念講演には延べ約320人が参加した。

②1-4-12-5 学校運営における男女共同参画の推進(教育総務課)

数値目標(成果指標)

小中学校における女性管理職の登用率

○小学校 平成26年度11.1% ⇒令和2年度20.0%

○中学校 平成26年度6.3% ⇒令和2年度10.0%

令和2年度実績

小中学校における女性管理職の登用率

○小学校…25.0%

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
22.2%	23.5%	23.5%	29.4%

○中学校…6.3%

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
12.5%	7.1%	7.1%	0%

事業実施内容

女性教職員の能力・意欲に基づき、管理職への登用の促進に努めた。また、各種ハラスメントやDV被害等の研修を行い、教職員の資質向上を図った。

○女性教職員の管理職登用の促進

○学校におけるセクシュアルハラスメント防止に向けた体制の確立と取組み

後期実施計画の総括

各学校における各種ハラスメントやDV被害等の研修を毎年行うことができた。女性教職員の管理職登用率については、市全体としては増加している。管理職登用は京都府の権限ではあるが、校種ごとに登用率が下がっていくことが課題である。

③2-5-14-2 第3次亀岡市元気農業プランの推進(農林振興課)

数値目標(成果指標)

ふるさと料理塾 平成26年度:年5回⇒令和2年度:年5回

令和2年度実績 令和2年度:年0回

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
3回	4回	5回	5回

事業実施内容

新型コロナウイルス感染防止の為、事業未実施

後期実施計画の総括

平成28年～令和元年において、郷土料理教室を実施し、女性の能力を適正に評価し、さらに主体的に参画できる環境づくりを図った。

(※令和2年度においては新型コロナウイルスの関係で未実施)

④2-7-19-5 亀岡生き物大学(市民力推進課)

数値目標(成果指標) 親子活動の場の提供 年間20回、参加者数1,000人

令和2年度実績

事業中止、単発事業にて振替開催 年間12回、参加者数245人

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
年間30回 参加者846人	年間33回 参加者1,084人	年間36回 参加者1,511人	年間29回 参加者1,393人

事業実施内容

新型コロナウイルス感染拡大を受け令和2年度は開催を中止したが、例年人気の高い講座を「亀岡生き物大学特別講座」として行い、自然体験を通して親子で人と生き物の共存について学習する場の提供を行った。

後期実施計画の総括

亀岡の環境を生かした体験型の環境学習を多く取り入れ、親子や様々な年齢層の方に参加いただいた。新型コロナウイルスの感染拡大を受け事業の中止を行ったため目標値には達さなかった。

⑤3-9-26-8 女性の相談室(人権啓発課)

⑥3-10-28-2 女性の相談室(再掲)(人権啓発課)

数値目標(成果指標)

フェミニストカウンセリング 年24回

法律相談 年24回 一般相談 週30時間

令和2年度実績

フェミニストカウンセリング 年18回

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
年18回	年24回	年24回	年24回

法律相談 年18回

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
年18回	年18回	年24回	年24回

一般相談 週30時間

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
週30時間	週30時間	週30時間	週30時間

事業実施内容

女性の相談室の実施

○一般相談(週5日)午前10時～午後4時

○専門相談

・フェミニストカウンセリング 年18回 ・法律相談 年18回

後期実施計画の総括

一般相談と専門相談(フェミニストカウンセリング・法律相談)を実施することで、支援が必要な人を適切な相談窓口へつなぐための情報提供ができた。

⑦3-12-32-3 生涯スポーツ社会の推進と充実(生涯スポーツ課)

数値目標(成果指標)

スポーツ大会(市及び体協主催大会・事業)等の参加者数

平成26年度10,947人→令和2年度15,000人

令和2年度実績 スポーツ大会等の参加者数 2,760人

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
12,153人	15,569人	13,998人	14,267人

事業実施内容

市民がスポーツを実施する機会を提供し、生涯を通じてスポーツに親しめる環境づくりを促進した。

○亀岡市スポーツ協会・市共催事業

平和祭市民スポーツ大会 他10件(中止・縮小分を含む) 参加者 2,392人

○市(亀岡市スポーツ推進委員協議会)主催事業

ふれあいスポーツ・デー 他2件(中止・縮小分を含む) 参加者 368人

後期実施計画の総括

幼児期・児童期の子どもや青年期以降の市民に対し、様々な種目のスポーツに親しめる機会を提供し、年代に応じて自主的・継続的なスポーツライフの実現に向けたサポートを推進した。令和元年度・2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる事業が相次いだが、可能な限りで生涯を通じたスポーツの普及・浸透を目指した。

◎4-13-36-2 地域活動、市民活動の拠点づくり(市民力推進課)

数値目標(成果指標)

「支えあいまちづくり協働支援金」交付事業での男女共同参画関連事業実施件数
令和2年度までに延べ10件

令和2年度実績 1件

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
0件	3件	0件	0件

事業実施内容

「支えあいまちづくり協働支援金」については、地域の課題解決や魅力あるまちづくりに向けた市民活動団体等の取り組みに対し資金面の支援を行う制度で、令和2年度は3事業に対し交付を行い、男女共同参画関連事業については、子育て支援等で取り組みが図られた。

後期実施計画の総括

市民活動団体等の男女共同参画関連事業4件に対し支援金を交付し、子育て支援等をサポートした。

◎4-13-39-7 男女共同参画計画の実施計画の策定・進行管理(人権啓発課)

数値目標(成果指標) 実施状況の点検評価 達成率A評価 90%以上

令和2年度実績 実施状況の点検評価 達成率A評価 87.7%

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
87.7%	88.9%	90.1%	94.1%

事業実施内容

実施状況の点検・評価を行い、計画の着実な推進を図るとともに、進捗状況を取りまとめ、ホームページ等に掲載し、公表した。

後期実施計画の総括

年々、達成率が下がっていった原因としては、相談業務の予算の削減や新型コロナウイルス感染症の影響が考えられるが、審議会委員や自治会長など女性の社会参画が進んでいない課題が依然としてある。

Ⅲ 達成できなかった 7項目(1-2-4-1を2項目とする)

①1-1-1-1 人権意識調査 (人権啓発課)

事業実施内容 ※調査未実施

人権に関する市民意識調査の実施・結果分析により市民一人ひとりの人権が尊重されるまちを目指し、人権行政推進の基礎資料としての活用を検討した。

- 女性の人権に関する調査項目の検討
- 男女別統計による分析

後期実施計画の総括

本調査に関する国・府の動きを注視しつつ、情報収集を行う。

②③1-2-4-1 市の審議会等への女性の積極的登用(企画調整課・人権啓発課)

数値目標(成果指標)

- 審議会等の女性委員の比率 50%
- 女性委員のいない審議会等を解消

令和2年度実績

- 審議会等の女性委員の比率 32.8%

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
31.5%	29.5%	30.1%	30.5%

- 女性委員のいない審議会 1/53

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
2/52	4/52	4/52	4/52

事業実施内容

政策・方針決定の場に男女が対等に参画し意見を反映させるため、女性の積極的登用を促進した。

- 「審議会等の設置及び公開に関する指針」を遵守するよう全庁に周知した。
- 「審議会等への女性の登用推進方策」に基づく事前協議を行った。
- 女性人材登録者の登用促進、積極的活用を促した。

後期実施計画の総括

「審議会等の設置及び公開に関する指針」及び「審議会等への女性の登用推進方策」に基づき、啓発や情報提供を行ったが、数値目標を達成することができなかった。更なる女性の登用促進を図る。

④1-2-5-2 市女性職員の積極的登用(人事課)

数値目標(成果指標)

女性職員の管理監督者昇任試験の受験率(対男性職員:同率)

令和2年度実績

女性職員の管理監督者昇任試験の受験率(対男性職員: △55.0%)

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
△55.4%	△42.5%	△41.8%	△31.9%

事業実施内容

能力実績主義を基本に「亀岡市人材育成基本方針」も踏まえ、定期人事異動における女性の管理監督職への積極的登用を図った。

※女性管理監督職員の率 33.3%

後期実施計画の総括

能力実績主義を基本に、適材適所の人事異動により、女性の管理監督職員の率を増加させることができた。

⑤1-2-6-4 地域活動等あらゆる分野における、意思決定の場への女性の参画促進(農林振興課)

数値目標(成果指標)

亀岡市総合農政計画審議会女性委員比率

平成26年度37.5%⇒令和2年度37.5%

令和2年度実績 30%

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
30%	30%	37.5%	37.5%

事業実施内容

令和2年度は、審議会の委員改選時期ではない為、女性委員の割合に増減はなかった。

後期実施計画の総括

委員改選時期においては、積極的な女性委員の参加を進めたが、農業分野においては未だ男性の割合が多いため、計画の達成はできなかった。

⑥2-8-22-1 国際交流事業における男女共同参画の推進(文化国際課)

数値目標(成果指標) 国際交流に関する各事業の男性参加割合 40.5%

令和2年度実績 国際交流に関する各事業の男性参加割合 0%

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
28.9%	33.3%	24.7%	34.7%

事業実施内容

国際理解や多文化共生を市民と考える機会として、ワールドフェスタを実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で令和3年度に延期となった。

○ワールドフェスタ 姉妹都市・友好交流都市 再発見！

後期実施計画の総括

国籍や性別に関わらず、より多くの市民が国際理解を深めることができる機会を設けることが必要。

⑦4-13-35-1 男女共同参画条例の普及・啓発(人権啓発課)

数値目標(成果指標)

「亀岡市男女共同参画条例」の認知度

平成26年度調査 28.4%⇒令和2年度調査 50%

令和元年度実績 意識調査 36.4%

事業実施内容

○ゆう・あいフォーラム等において、男女共同参画条例パンフレットの配布や、パネル展示を行い、普及・啓発活動を行った。

後期実施計画の総括

様々な場面で、啓発や情報提供を行ったが、数値目標を達成することができなかった。条例の認知度を高めるため、更に普及・啓発活動を促進する。